

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
3	数学	数学Ⅲ	5	SS理系
教科書・副教材		NEXT 数学Ⅲ (数研出版) 教科書傍用 サクシード 数学Ⅲ (数研出版) 新課程 クリアー数学演習Ⅲ・C (複素数平面, 式と曲線) 受験編(数研出版) プレテストHalf 数学ⅠA+ⅡBC(数研出版) 共通テスト対策【実力完成】直前演習 数学Ⅰ・A(ランズ) 共通テスト対策【実力完成】直前演習 数学Ⅱ・B・C(ランズ)		

科目の目標			
数学Ⅲは、これまで学習した数学ⅠAⅡBCの内容の理解が前提になります。まずは既習事項の復習を必ずしていきましょう。基本的には45分間の授業で教員の説明のみで終わることはありません。全体に対して説明しなければならないことは必要最低限です。生徒の皆さんに活動してもらう時間を十分に与えられるような授業にしていきます。自分がいま何をすべきかを考え、行動してもらうことになります。そのことで、「課題設定」「個人的実行力」「耐性」などのコンピテンシーが伸びていきます。 授業内の活動において、わからないことなどは周囲の人たちと相談しても良いですし、教員に気軽に質問してもらっても良いです。授業の主役は生徒の皆さんであり、教員ではありません。考え・悩みながら45分間の活動の中で、自分でより多くの問題を解こうとする積極的な学習しましょう。特に複雑な計算を伴う問題は、解答を見て満足するのではなく、必ず自分で計算する経験を積み、正解が出るまで何度もやり直しをするようにしましょう。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	極限、微分法および積分法において、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。また事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	微分法および積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
評価の方法	単元テスト 定期考査 観察等	単元テスト 定期考査 観察等	課題 リフレクション 観察等

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	第3章 微分法		
	第2節 いろいろな関数の導関数		
	3. いろいろな関数の導関数	2	単元テスト リフレクション 課題
	4. 第n次導関数	1	
	5. 曲線の方程式と導関数	2	
	第4章 微分法の実用		
	第1節 導関数の応用		
	1. 接線の方程式	2	単元テスト リフレクション 課題
	2. 平均値の定理	1	
	3. 関数の値の変化	3	
	4. 関数のグラフ	3	
	第2節 いろいろな応用		
	5. 方程式、不等式への応用	1	単元テスト リフレクション 課題
	6. 速度と加速度	1	
	7. 近似式	1	
	第5章 積分法とその応用		
	第1節 不定積分		
	1. 不定積分とその基本性質	2	単元テスト リフレクション 課題
	2. 置換積分法と部分積分法	3	
	3. いろいろな関数の不定積分	2	
	第2節 定積分		
	4. 定積分とその基本性質	1	単元テスト リフレクション 課題
	5. 置換積分法と部分積分法	3	
	6. 定積分のいろいろな問題	3	
	第3節		
	7. 面積	3	単元テスト リフレクション 課題
	8. 体積	3	
	9. 道のり	1	
	10. 曲線の長さ	1	
2 学 期	数学ⅡⅢⅣABC全般 (クリアー等を用いた数学演習)	60	単元テスト リフレクション 課題